

多言語音声翻訳のライセンス事業を行う企業・団体の募集
事業計画書作成要領

国立研究開発法人情報通信研究機構
先進的音声翻訳研究開発推進センター 企画室

「多言語音声翻訳のライセンス事業を行う企業・団体の募集」の申請者は、別紙の各項目を記載した事業計画書を作成し、募集期間中に提出してください。提出された事業計画書をもとに評価を行い、申請者が募集要件に合致し、多言語音声翻訳の研究成果物のライセンス提供の協議を行うことが適切か否かを確認します。なお、必要な場合は、補足の資料の提出をお願いすることがあります。

事業計画書

- (1) 作成要領の各項目については、詳細かつ具体的に記載してください。記載による説明が困難な場合は、図表を含めた形で事実関係を整理した資料を添付する等、事業計画の内容を分かりやすくするよう努めてください。
- (2) 記載の内容に社外秘を含む場合は、事前にご相談ください。
- (3) 事業計画書は CD-ROM 等の電子媒体に記録して提出してください。
- (4) 電子媒体に記録する電子ファイルは、汎用的なファイル形式としてください。
- (5) 事業計画書は以下までご提出ください。

〒184-8795

東京都小金井市貫井北町 4-2-1

情報通信研究機構

先進的音声翻訳研究開発推進センター

企画室

**多言語音声翻訳のライセンス事業を行う企業・団体の募集
事業計画書 作成要領**

1. 商用サービスの提供実績等

多言語音声翻訳に関する技術開発やサービス展開の現状に関して、以下の点を記載してください。

- ① これまで多言語音声翻訳の商用サービスを提供した案件の業態や提供したサービスの内容、件数等の提供実績の詳細、これまで多言語音声翻訳で他の企業・団体と連携して実施した実証実験の業態、内容、実施した実証実験の件数等の実施実績の詳細
- ② 音声翻訳エンジン、プログラム、ツール等の技術を外部から受け入れた上で、自社で開発した技術等を活用しつつ、対外的に商用サービスとして提供するための社内技術の水準、開発環境及び技術開発体制

2. ライセンス事業計画

NICT からライセンス提供される言語について、不足なく速やかに音声翻訳サービスベンダ（作成したモジュールの提供先のことを言う。）に対してライセンス事業を提供するにあたり、具体的なライセンスの提供形態（提供先である音声翻訳サービスベンダがどのような商品・サービスを提供することを想定してライセンスを提供するか）について、具体的なライセンス事業の計画を記載してください。

- ① ライセンス提供先である音声翻訳サービスベンダが以下の商品・サービスを提供することを前提とした場合のライセンスの提供形態。また、以下以外の商品・サービスを音声翻訳サービスベンダが提供しようとした場合の対応
 - (1) 商用クラウドサービス
 - (2) オンプレミスサーバ向けソフトウェアの製品化
 - (3) モジュールを組み込んだデバイス等の製品化
- ② NICT から追加的に言語の提供を受けた場合、音声翻訳エンジンにその言語の情報を追加し、ライセンス提供先に提供するまでに必要となる作業工程の詳細とそれに要する時間と実施体制

3. 顧客サポート体制

ライセンス提供先がライセンスに基づき運用を開始したのち、支援が必要となった場合のサポート体制について、以下の点を記載してください。

- ① ライセンスの提供先である音声翻訳サービスベンダが支援を必要とする場合に、当該音声翻訳サービスベンダがサービス提供の出来ない期間が生じないように十分な人員を手当てし、迅速に対応が可能な運用サポート体制（当該サポートを提供する国内拠点の場所等の情報を含む）
- ② 提供したモジュールに不具合が発生した場合に提供元が負うべきと想定される賠償の範囲
- ③ 自社で保有する個人情報の適切な取り扱いを担保するための体制
- ④ モジュール提供に関する知的財産権の実施にあたり、必要となる第三者の特許権帰属等（欧州 GDPR 等の対応も含む）の調査及び必要な対応を行うための体制

4. 試用ライセンスの提供

商用ライセンスとは別に企業・団体に提供される試用ライセンスの提供について、以下の点を記載してください。

- ① 試用ライセンスを利用しようとする企業のシステムで稼働ができるような十分汎用性の高い仕様での提供
- ② 試用ライセンスを提供する場合に徴収を予定している利用料金の金額
- ③ 試用ライセンスを提供する際に利用者が技術的な支援を必要とする場合に提供される技術的な支援の詳細

5. 音声翻訳エンジンの改修

顧客が希望して追加的に持ち込まれるコーパスを音声翻訳エンジンに反映させるために必要となる改修について、以下の点を記載してください。

- ① 追加的にコーパスを持ち込んで音声翻訳エンジンを改修する場合の具体的な作業手順、作業工程及び体制
- ② その場合、預かったコーパスの取り扱いについて、保管方法や持ち運び等の際における情報漏洩対策
- ③ 預かったコーパス及び当該コーパスをもとに生成された二次データを改修に使用した計算機から削除する手順

6. 事業・財務状況

多言語音声翻訳に関して現在取り組んでいる事業について、以下の点を記載してください。必要に応じて参考資料を添付する等、実情が詳細に分かる様に関連書類等も併せて提出してください。また、企業・団体として、2021年以降も事業を継続する意思があることを示す書類等を提出してください。

- ① 現在取り組んでいる多言語音声翻訳に関する事業内容及び当該事業の財務状況（連携している企業、事業規模等）の詳細
- ② 多言語音声翻訳に係る事業以外の事業を含む、社内の事業全般の内容及び会社の財務状況の詳細

7. ライセンス権及びサブライセンス権の提供範囲

ライセンス権及びサブライセンス権の提供範囲について、以下の点を記載してください。

- ① ライセンスの提供を想定している企業の業態、企業規模等を含めライセンス提供先である音声翻訳サービスベンダの対象範囲の考え方（子会社及び関連会社の扱い等）
- ② サブライセンス権の付与先の考え方